

令和3年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業  
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)  
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【 静岡県 】
令和3年度に実施した取組の内容及び成果と課題
<p>1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)</p> <p>(1) 運営協議会        会議名: 日本語指導が必要な児童生徒支援担当者会議        参加者: 県教育委員会義務教育課、教育事務所担当者、日本語指導コーディネーター</p> <p>(2) 連絡協議会        会議名: 帰国・外国人児童生徒等教育連絡協議会        県多文化共生課の「外国人の子ども支援関係者ネットワーク会議」と合同開催        参加者: 県教育委員会、県多文化共生課、教育事務所、市町教育委員会、        市町多文化共生担当課、県国際交流協会、市町国際交流協会、        外国人児童生徒スーパーバイザー、日本語指導コーディネーター        参加者数(57人)</p>
<p>2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること</p> <p>(1) 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営</p> <p>ア 運営協議会        開催日: 毎月1回        内 容: 各学校・市町への支援に関する情報交換、支援方針の検討、支援方法等</p> <p>イ 連絡協議会        開催日: 令和3年10月8日(金) 午後1時30分から4時45分まで        内 容: 講演、外国にルーツをもつ生徒の発表、事例紹介、行政説明、調査報告</p> <p>(2) 学校における指導体制の構築</p> <p>ア 「拠点校」の設置及び日本語指導コーディネーターによる拠点校訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人児童生徒支援加配教員が配置された学校を「拠点校」と位置付けた。</li> <li>各教育事務所に配置している日本語指導コーディネーターが拠点校等を訪問し、特別の教育課程の編成・実施について、実態把握に努めるとともに助言を行った。</li> <li>関係書類の保管状況等の確認を教育事務所による加配校訪問や実態調査の際に行い、適切に対応していくよう指導した。</li> </ul> <p>イ 外国人児童生徒担当教員等研修会の開催</p> <p>開催日: 令和3年5月19日(水) 静西教育事務所        令和3年5月24日(月) 静東教育事務所</p> <p>参加者: 外国人児童生徒支援加配教員、外国人児童生徒等が在籍する学校の教職員、        市町教育委員会担当者</p> <p>内容等: 日本語指導・適応指導の在り方、特別の教育課程の編成・実施、DLAの説明        外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修」の伝達</p>

### (3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施

#### ア 年間の活動

- 4月：「特別の教育課程実施マニュアル」の活用
- 5月：外国人児童生徒担当教員等研修会の開催 ※（2）イ参照
- 10月：帰国・外国人児童生徒等教育連絡協議会での情報共有 ※（1）イ参照
- 2月：達成目標の評価

#### イ 日本語指導コーディネーターによる市町教育委員会や学校に対する支援

- ・対象となる児童生徒の日本語習得状況把握の支援
- ・学級担任や担当教員等と児童生徒の来日時期や家庭環境等の情報共有
- ・子供の実態に応じた目標設定、指導計画作成の支援
- ・市町教育委員会開催の研修会等の助言や講師

### (4)成果の普及

#### ア 静岡県教育委員会教育広報誌「Eジャーナルしずおか」への掲載

#### イ 静岡県教育委員会ホームページへの掲載

- ・外国人児童生徒・保護者のための学校の手引き「ようこそ！日本の学校へ」
- ・学校における「やさしい日本語」活用促進事業実施報告書

### (5)学力保障・進路指導

#### ア 学校における「やさしい日本語」研修会の実施

講師：特定非営利活動法人 国際活動市民中心(CINGA)コーディネーター 新居みどり氏

- ・「やさしい日本語」の概念、必要性、効果、活用例に関する講義
- ・やさしい日本語実戦練習（話し言葉編）
- ・書き言葉のやさしい日本語紹介

#### イ 「取出し指導での学習」と「在籍学級での学習」の連携

- ・日本語指導コーディネーターが訪問校に対し、「取出し指導での学習」と「在籍学級での学習」の連携についての助言

#### ウ 外国人の子供の就学状況追跡調査の実施

- ・文部科学省調査に加え、「不就学を含めた就学状況が不明な子供」の追跡調査を実施
- ・日本の学校制度を理解するための多言語リーフレットの活用

### (7)ICTを活用した教育・支援

#### ア タブレット端末の活用

- ・日本語学習アプリの活用例の提示
- ・撮影動画を活用した児童生徒の情報交換など

#### イ 自動翻訳機の活用

- ・相談員等が対応できない言語への活用
- ・支援体制が整うまでのコミュニケーションツール（突発的な転入学、編入学時）

### (8)高校生等に対する包括的な教育・支援

日本語コーディネーターによる日本語学習講座及び個別支援により日本語の習得を目指すとともに、自身の日本語のレベルを客観的に捉える指標として、日本語能力試験への積極的な挑戦を促す。また、キャリアコンサルティング技能士によるキャリア支援を行うことで就労についての正しい知識を身につけるとともに、就労への啓発活動を行い、日本での外国人生徒の自立支援と地域経済の担い手となる外国人人材の育成を目指す。

### (10)日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

#### ア バイリンガルの相談員等の任用・派遣

- ・「母語による日本語指導」を実施する。
  - ・ポルトガル語（4人）、スペイン語（3人）、中国語（5人）、フィリピン語（4人）ベトナム語（1人）
  - ・訪問回数：小学校（395回）中学校（306回）特別支援学校（159回） 計（860回）
- イ 日本語指導コーディネーターの任用・派遣
- ・「日本語による日本語指導」を実施する。
  - ・2教育事務所に各2人
  - ・訪問回数：小学校（205回）中学校（162回）教育委員会等（79回） 計（446回）
- ウ トータルサポート研修会の実施（年間8回開催）
- ・教育事務所ごとに相談員等が集まり、情報共有
  - ・資質向上のための教材検討等

### 3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること

#### (1)地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営

##### 【成果】

特別の教育課程の編成・実施について、市町教育委員会がその把握を行ってきたが、確実かつ効果的な支援が行われているか、県としても日本語指導コーディネーターを通して状況を把握することができた。また、有識者による講演や市町の特徴的な取組について情報交換、協議することで、担当者の資質向上を図ることができた。

##### 【課題】

日本語指導コーディネーターを通して状況を把握する中には、まだまだ特別の教育課程の編成・実施について、確実かつ効果的な支援が行われていない状況もある。就学した児童生徒に対する、各学校、各市町の支援の質を向上させるため「帰国・外国人児童生徒等教育連絡協議会」を充実させ、より良い支援方法や支援体制の共有を図る。

#### (2)学校における指導体制の構築

##### 【成果】

日本語指導コーディネーターによる訪問支援の効果が広がっており、拠点校や市町教育委員会において心強い存在となっている。今後もこのサポート体制を維持しつつ、「特別の教育課程」で指導を受ける児童生徒数の増加に努める。また、外国人児童生徒担当教員等研修会により、日本語指導、適応指導の在り方についての理解を深め、外国人児童生徒支援加配教員の指導力の向上を図ることができた。

##### 【課題】

外国人児童生徒等の増加に伴い、「特別の教育課程」で指導を受ける児童生徒数の増加が予想される。また、外国人加配教員の基礎定数化がさらに進むため、市町教育委員会ごとの日本語指導ができる人材への研修体制の構築を推進する必要もある。

#### (3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施

##### 【成果】

日本語指導コーディネーターが定期的に学校を訪問し、児童生徒の実態を適切に把握した上で目標や指導計画の修正・実施を助言することができた。そのため、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒のうち、個別の指導計画の指導目標が達成できた児童生徒は、小学校で94.0% 中学校で96.6%となった。

##### 【課題】

バイリンガルの相談員等による支援では限界があるため、「日本語による日本語指導」の普及に併せ、「やさしい日本語」の活用を広げていく必要がある。また、加配教員を含め、日本語指導担当教員に対する研修が限られているため、日本語指導コーディネーターによる研修会を充実させ、教員の資質向上に努める。

#### (4)成果の普及

##### 【成果】

教育広報誌に掲載することで、県の取組を広く周知することができた。またホームページに掲載することで、県内指定都市や他の都道府県に対しても情報を提供することができた。

##### 【課題】

会議等多くの人が集まる場面、県内広報誌、WEBページ等、様々な場面を活用し、今後も成果の普及に努める。

#### (5)学力保障・進路指導

##### 【成果】

学校における「やさしい日本語」研修会の実施により、その認知や活用への意欲が高まった。また、「取出し指導での学習」と「在籍学級での学習」の連携を図ったことで、児童生徒それぞれに合った、より効果的な取出し指導を行えるようになった。

外国人児童生徒の就学状況においては、すべての市町で就学状況未確認児童生徒は0名となっており、住基登録者の中で就学していない児童生徒に関して、何らかの形で確認を取ることが意識された。また、不就学であった児童生徒の多くが就学につながっている。

##### 【課題】

共生社会における共に学び成長する授業を実現するためには、該当する外国人児童生徒に関わる教員だけでなく、校内の全ての職員の意識改善が必要である。また、就学状況が向上してきた令和4年度は、就学した児童生徒に対する、各学校、各市町の支援の質を向上させていく必要がある。そのため、より良い支援方法や支援体制の共有を図る必要がある。

#### (7)ICTを活用した教育・支援

##### 【成果】

タブレット端末や自動翻訳機を活用することで、児童生徒が興味をもって続けられる教材を提供したり、多言語化に対応できたりすることができた。また、児童生徒に対する効果ばかりでなく、学習アプリや翻訳アプリを使用してコミュニケーションをとることで相談員等が当該児童生徒を深く知る機会となり、支援がスムーズになった。

##### 【課題】

学校のICT環境の整備状況により、活用できる教材等が限られてしまう。今後環境整備が整うにつれ、より効果的な教材等の活用が期待できる。

#### (8)高校生等に対する包括的な教育・支援

##### 【成果】

授業内容の理解の向上が見られるとともに、日本語で自分の考えや思いを伝える機会が楽しいと感じる生徒が見られるようになってきた。また、将来日本の企業での就労を見据えて、日本語能力試験を受験しようとする積極的な態度が見られるようになり、自分の特性と進路を繋げて考えることができるようになった。

##### 【課題】

日本語の理解力に差があるため、集団よりも個別の支援での対応がよい場合があり、生徒の実態や集団の人数・様子に応じた支援形態への変更など、支援開始後であっても臨機応変な対応が必要である。また、キャリア支援においては、日本語での支援では内容の理解が十分できないこともあり、早い段階での日本語習得を目指す必要がある。

#### (10)日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

##### 【成果】

母語が分かる相談員等の派遣は、学校や外国人児童生徒にとって有効な支援であったことが分かる。母語で自分の思いや悩みを自由に話せる環境は、外国人児童生徒にとって、安心して学校生活を送るための貴重な場であると言える。また、日本語指導コーディネーターによる、各学校や児童生徒の実態に応じて適切に指導方法や計画を修正するサポートは、学校の指導体制の充実に大いに効果があると考えられる。

**【課題】**

本県においては、特定の言語に対する支援ニーズが高まる一方で、多言語化も課題となっている。「母語による日本語指導」と「日本語による日本語指導」とともに充実を図る必要があるため、トータルサポート研修会や連絡協議会等において担当者による情報共有を密にし、対応を検討していく必要がある。

	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	中等教育 学校	特別支援 学校
本事業で対応した幼児・児童生徒数	-人 ( -園)	313 人 ( 76校)	206 人 ( 51校)	0 人 ( 0 校)	216 人 ( 27校)	-人 ( -校)	130 人 ( 20 校)
うち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒数		265 人 ( 46校)	118 人 ( 32校)	人 ( 校)	-人 ( -校)	人 ( 校)	0 人 ( 0校)

4. その他(今後の取組予定等)

**【義務教育課】**

- ・バイリンガルの相談員や日本語指導コーディネーターを各学校に派遣し、児童生徒との心のつながりを土台とした日本語指導の支援を促進する。
- ・日本語指導を担当する加配教員などの個々の資質を向上するための研修のみならず、学校における「やさしい日本語」研修の実施など、学校全体で取り組む内容の研修の充実を図る。

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。